

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

当期から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

#### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減額として処理）を採用している。

また会計処理は洗替処理でなく切放処理としている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	43,811,188	180,000,000		223,811,188
投資有価証券	621,900,000	36,930,000		658,830,000
外国債券	180,000,000		180,000,000	-
小 計	845,711,188	216,930,000	180,000,000	882,641,188
特定資産				
貸与貸付金	39,559,000		2,836,000	36,723,000
奨学事業積立資金	104,198,617	31,411,775	20,000,000	115,610,392
小 計	143,757,617	31,411,775	22,836,000	152,333,392
合 計	989,468,805	248,341,775	202,836,000	1,034,974,580

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
普通預金	223,811,188	(223,811,188)		
投資有価証券	658,830,000	(658,830,000)		
小 計	882,641,188	(882,641,188)		
特定資産				
貸与貸付金	36,723,000	(36,723,000)		
奨学事業積立資金	115,610,392	(115,610,392)		
小 計	152,333,392	(152,333,392)		
合 計	1,034,974,580	(1,034,974,580)		

### 4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内 容	金 額
経常収益への振替額	
用途の制約の解除による振替額	17,656,974
合 計	17,656,974